

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008



Season's Greetings

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区ガバナー 江崎 柳節

Met 【撮影 江崎 柳節】

ガバナー一月信 No.6



ロータリーは
分かちあいの心

2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ

ガバナーメッセージ	2
家族月間に寄せて	4
ガバナー公式訪問報告	6
ガバナー補佐公式訪問	9
2007～2008年度 第2760地区委員長会議	13

地区大会速報	14
ガバナーからのお知らせ	19
インターネット速報・文庫通信	22
会員出席率報告(10月分)	23

12月

2007年12月1日発行

One Difference 違いをもたらそう

2007～2008年度
国際ロータリー第2760地区のテーマ



Governor Message

ロータリー研究会

クラブ会長各位

クラブ幹事各位

11月も大変忙しい月で御座いました。恐らく人生の中で最もなすべき事が山積した月ではなかったかと思います。ガバナー事業には地区幹事と8人の地区副幹事、地区会計、地区監事がガバナークラブから出てくれます。それからガバナー事務所のスタッフが8人つきます。これらの有能な人材が日夜ガバナーを助けてくれています。そしてガバナーは対外的な仕事に没頭します。

7月31日名古屋クラブを皮切りにはじめさせて頂きましたガバナー公式訪問も81クラブを49回の機会に纏めさせて頂きました。猛暑の午前中から昼下がりまで例会前の会長、幹事さんとの協議会（後半は会長エレクト、副幹事さんも合流）にも重点を置かせて頂きました。そうして朝晩肌寒く感じる11月7日犬山・小牧合同例会でもって難関の行事の一つ公式訪問を無事終えることが出来ました。小牧RCの会員達から“お帰り”と声を掛けられ花束をいただいたときには目頭が熱くなりました。それから1週間で地区大会がはじまります。幸い江南RCがホストをしてこの一年間最後には不眠不休でご準備をいただきました。毎日、他地区のガバナーはじめ出席者のご来訪の動静、席順、GSEの臨時出席、表彰者の確認、20数回あるガバナー挨拶の確認とそれに覚悟はしていたものの、今回自分でオーガナイズしたシンポジウム「期待される奉仕プロジェクトの新傾向」のぶっつけ本番の成否など人間の能力を超えた1週間でありました。2日間の地区大会は尾北の地で行いましたが想像をはるかに超えるこの地区の御友情と理念に支えられ自分で云うのもおこがましいほどの成功で御座いました。81クラブの会員の皆様にくれぐれもよろしくお伝え下さい。

そして中一日を於いて東京に“ロータリー財団セミナー”とそれに続く“第36回ロータリー研究会”が開かれました。一昨日まで“犬山・小牧でRI会長代理をお務め頂いた現RI理事小沢一彦様が休む間もなくこれを主催され、RI会長Wilkinsonさん、ロータリー財団管理委員長ロバートS. スコット一行が地区大会第1日目には東京にお着きになっていたわけで、もうお一人の渡辺好政理事にお迎えをお任せになっていたことは恐縮に値する2760地区への思いやりで御座いました。

ともかく東京お台場のホテル・グランパシフィック・メリディアンにおける第36回ロータリー研究会は滞りなく進行を見たので私も安心致しました。

日本のシニア・リーダーと言うことで延べ100名のロータリー国内委員と約800人の各地区ガバナー・パストガバナー・ガバナーエレクトが招集され、今日では国際水準となった国際協議会スタイルの会議が3日間殆どホテルに缶詰状態で続けられた。朝食は全員一堂に会して8:00までにすませ会場に入り8:30に開会が宣せられるのであります。昼食もそこそこに13:00には正確に午後の部がはじまります。今回は夫人同伴者も同じプログラムに出席し、分科会もなく一堂に会して討論を進める方式でありました。

ロータリー研究会の内容を以下にご紹介します。

国歌（カナダ、アメリカ、日本）演奏に引き続いて

①基調講演（ウィルフリッド・J. ウィルキンソンRI会長）

（皆様のクラブ計画書または地区便覧に掲載した内容とほぼ同じ）再びステファン・グレレの詩を紹介されました。「この人生はたった一度限りの旅だと思うから、私にできるよいこと、私が友にしてあげられる親切なら、どんなことでも、今させてください。この道を二度と再び通るわけではありませんから、この親切を引き延ばしたり、なおざりにしたくはないのです」。

この会議は日本語では「ロータリー研究会」と訳されておりますが、会議の位置づけとしてはRotary Institute「ロータリー専門講座、または専修会議」で指導者のための会議であると思われます。

速報と近況

国際ロータリー2760地区ガバナー 江崎 柳 節

ウィルキンソン会長の閉幕の挨拶は明らかに世界平和に立ち向かうロータリーの夢を示唆したものだと感じました。直前に私が発言したことに対するお答えのように感じ勇気をいただきました。

②ロータリー財団管理委員長ロバート・S. スコットさんの挨拶の一部。

この命と、日々を満たす目的と、心を占める目的とを見いだすことが出来る人々は幸せだ。この世は、自分の居場所に満足し、成功をもたらす喜びを知る事がなく、遠くまで行く意志ももたない小人たちで満たされている。だがこの世では、誰かが他の人々を導く必要がある、導き手は最良のものをあたえることにより、平均以上にぬきんでる必要がある。

この仕事をやるかと云われたときには、受けて立つ人になれますか？
これまでに見たこともないほどの高みへとのぼれますか？それはあまりの御願いでしょうか？ 今日あなたは世に勝ち、偉大な目的を達成する日。

チャレンジを受けよ、そしてあなた自身を信じるのだ。終わりの日に、あなたは自分の仕事を誇りに思うだろう。来し方を振り返り、その道を歩んできたことに満足するだろう。そして、水の出る井戸のほとりに立っていた女性をおもいだしてください。彼女は、ロータリーが来てからは、子供らが死なくなりました、と私たちに語ったのでありました。

③07年11月理事会報告 新しい長期計画と財政5カ年計画（渡邊理事）

RIの理事会は19名で構成（管理運営、プログラム、監査の3委員会）主要決定事項

1. ポリオ撲滅がRIの最重要事項。
2. ロータリー独特の「新・職業奉仕委員会」を設立し賞苦行奉仕への取り組みを来年の国際協議会で渡邊理事が講演する。
3. 財団未来の夢委員会の構想
マッチンググラントの5年間で7倍の成長を達成。
プログラムの簡素化、重点分野の明確化でMy Foundation（私の財団）を明確化。補助金のパッケージ化。DDFと補助金の大型化。補助金のパイロット・クラブ選定。

等が報告されましたが詳細は別の機会に恵まれれば書くことに致します。

その他会場内のワークショップ形式の討論が行われました。

- 第1セッション 「ポリオプラス」
- 第2セッション 「会員増強・会員維持・ロータリー家族」
- 第3セッション 「水・保健・識字」
- 第4セッション 「新世代・青少年・ロータリー平和センター」

これらの詳細は大半は先週2760地区大会で行われました記念シンポジウム『期待される奉仕プロジェクトの新傾向』と趣旨がよく似通っていました。あらためて当地区のシンポジウムに対して頂いたご講評を思っていました。ロータリー平和フェローとしてご講演願った杉山恵奈さんがここでも活躍されていました。

皆様、残りも半期となりました。もう一度やり残したことはないかチェックして頂き、たった一度だけの会長年度の成果を高めて頂きぜひRI会長賞に挑戦して頂きますようお願い申し上げますと共に時節柄十分ご自愛下さるようお願い申し上げます。

家族月間に寄せて



地区ロータリー家族委員会委員長 高井 克 憲

家族というのは各個人の集合体であります。そして、その各個人はそれぞれ社会の一員として、いろいろの葛藤の中で生活しているわけです。従って、壊れる方向に向くときわめてもろく壊れ去ってしまうでしょう。そんな中で、いつの世もそれぞれの家族は、社会の一個体としてその品格を世に問い、責任を果たしています。この家族という基本的な形は全世界共通して生きているものと考えます。

家族月間には、家族週間（Family Week）という名称の前身があり、それは10年前にさかのぼります。1995～1996年度R.I.会長のハーバード・ブラウン氏が「世界平和は、地域・家族から始まる」という考えを表明し、R.I.理事会が受けて、1995年11月のR.I.理事会決定事項として、毎年2月の第2週を「家族週間」と指定しました。次いで、2003～2004年度R.I.会長のマジニアベ氏があらためて家族の大切さを四つの会長強調事項の一つに「ロータリー家族」を提唱し、これを受けて同年、R.I.理事会は12月をロータリー家族月間と指定し、ロータリーカレンダーに初めて記されました。

ロータリーは、200以上の国と地域に広がり、クラブ数32,943、会員総数1,224,168人（2007年6月30日R.I.正式発表）に達しています。また、日本では、クラブ数2,319、会員数97,530人（2007年7月現在）となっています。

（ロータリーの友より）。従って、この数の何倍かがロータリー家族ということになります。さらに、ローターアクト、インターアクト、ロータリー財団学友、米山奨学生および学友、研究グループ交換チーム、青少年交換学生、RYLA、共同事業をする地域のボランティア団体（ロータリー地域共同体）、物故会員の配偶者とその家族、元ロータリアン、ロータリアンの従業員もロータリー家族です。加えて、2005～2006年度のR.I.会長ステンマー氏は、R.I.の研修リーダーやすべての委員会、推進グループなどもバラエティに富んだロータリー家族の一員で、ロータリー財団員は大きな、そして重要なロータリー家族の一員ですと言っています。

私達が、ロータリー家族に関心を持つことは大切です。そうすることは、私達の活動を助け、連帯感と友情を育むことになると思います。今年度のR.I.会長ウィルキンソン氏も『ロータリーの目標と理念の推進に向けて私達と共同で活動して下さる方々も皆、このファミリーの一員です。ロータリー家族が一体となれば、私達は奉仕と親睦の理念を世代を超えて伝えながら、ロータリーのプログラムを世界中に広めていくことができるのです。』

と、ロータリー家族を強調事項の一つに掲げました。ロータリー活動を配偶者や家族と一緒に行動し、奉仕の喜びを分かち合うことが大切ですし、そのことが退会防止や新会員の勧誘に大変役立つと思います。ロータリーは、「分かち合いの心」のR.I.テーマをロータリー家族を含めて実践していきましょう。

ロータリー家族委員会の本年度活動方針

- (1) 率先してロータリー家族のロータリー活動への理解と参加を勧めましょう。
- (2) 家族月間を支援するプログラムおよび物故会員の追悼例会を実施しましょう。

家 族 月 間 に 寄 せ て

各クラブのロータリー家族の活動方針

豊田東ロータリークラブ

会長 小 松 正 伸

ロータリーの「奉仕の理想」を実現するには、ご夫人や家族の活動への理解が大切であるという方針に基づき、年3回の家族例会を設けています。

今年度は、10月に御園座において歌舞伎の観劇会を開催し、多数のご家族のご参加をいただきました。12月には、恒例のX'mas家族例会を開き、楽しく思い出に残るひとときにしたいと準備をしています。また、来年6月には、一泊の親睦旅行を行う予定で、皆様に喜んでいただける様、行き先を検討しているところです。

おかげさまで、私達のクラブは、伝統的に家族、特にご夫人のご参加が多く、例会会場のあちこちで楽しく会話が弾んでいる様子が見受けられます。

“ロータリー家族は、ロータリー活動の源泉”という言葉のを忘れることなく、クラブの良き伝統を守りながらも更に会員相互と家族の絆を深めて行きたいと思っています。



あまロータリークラブ

クラブ奉仕委員会委員長 紫 関 雅 美

あまロータリークラブの家族関係の活動は、公私に渡り大変活発に行われていますので、あまりに多いため、すべてをここに書くことはできませんが、主だったことを中心に活動状況を報告いたします。

伊藤会長の今年度の家族会は、親睦委員会によって3つの大きな行事が計画されました。①夏休みの京都旅行②冬休みのクリスマス会③春休みの家族会です。



①は、8月25日(土) 子供11人を含む総勢100名で実施しました。コースを二つ用意し、子供さん向けには嵐山のトロッコ電車、大人向けには大徳寺での法話、昼食は合流して高尾の川床料理で舞妓さんを見ながら楽しみました。

われわれだけでなく、ご家族の皆さんも、こういう機会でないとなかなか本物を見れないということで、はじめてみる舞妓さんの踊りや、京言葉、着物の重さなど貴重な体験をととても喜んでおられました。いまは、親睦委員会を中心に、当クラブに13ある趣味の会のグループもいろいろなアイデアを持ち寄り、今月予定しているクリスマス会についての企画の追込みにかかっているところです。

豊橋南ロータリークラブ

本年度第1回目のクラブ・フォーラムでは昨今の司法制度に目を向け、裁判員制度をとりあげ会員相互の意見交換をはかりました。

42年歴史持つ当クラブは、かねてより韓国慶尚大学の学生を受け入れ（ホームステイ）などを通じて、近くて遠い国といわれる韓国との教育・文化の交流を続けて来ました。日本と韓国との交流は高句麗・新羅・百済の1,000年前に始まり、そしてロータリーの始まった100年前から視点の異なった付き合いが始まり、現在に至って次なる展開が期待されています。12月に行われる韓国の大統領選挙に先駆け、去る11月7日に豊橋東RCと合同で、広く家族・市民を対象とした講演例会（講師：黒田勝弘氏・産経新聞ソウル支局長）を開催し200名の参加者がありました。



本年のクラブ会長テーマは“視点をかえて (Think Different)” をかけ、12月17日は家族例会を企画しております。本クラブには女性会員はまだ入会しておりませんが、退会者も極めて少なく、老・壮・青の会員構成にバランスがとれ、和気あいあいとしたロータリー活動がなされていると自負しております。

来年1月13日（1/21の例会変更）には第29回目の豊橋少年柔道大会南ロータリー胚を開催し、2月2日（2/4の例会変更）は第25回目の明るい家庭作り推進大会（小中学校の作文大会）を支援する予定であります。

会員の平均年齢60.4歳という当クラブはロータリー活動を生涯学習場として視野に入れながら、例会のゲストスピーカーを厳選し、会員が出席して良かったと思える例会の開催を心がけています。



ガバナー公式訪問報告

津島ロータリークラブ

幹事 伊藤 幸蔵

9月28日、江崎柳節ガバナー、河村嘉男地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会が開催されました。日本各地で記録を塗り替えるほどの異常気象は9月末になってもなお暑いままで、例会に先立ち行われたガバナーによる会長・幹事懇談会では、江崎ガバナーより今年度方針を中心に、熱心さと暑さで汗びっしょりになってご指導いただき、大変有難うございました。例会場をいつものツシマウール会館より変更した津島神社では、当クラブメンバーでもある和出宮司に境内を案内してもらい、神社や津島祭などについての説明をさせていただきました。その後、玉串奉奠をしてお参りしていただきました。

例会の卓話では「ロータリーマジックと平和」という演題で講演を頂きました。ロータリーの分かち合いの心について、地区運営方針、ロータリーマジック、CLPなどについてわかりやすくお話をいただきました。



名古屋名東ロータリークラブ

会長 加藤 常文

名古屋東山ロータリークラブ

会長 奥村 敦

名古屋昭和ロータリークラブ

会長 井上 雅之

10月1日(月)江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えし、昭和RCホストの3クラブ合同例会を開催しました。例会に先立ち江崎ガバナーと3クラブの会長・幹事との懇談会があり、各クラブの現況活動報告の後、ガバナーより今年度のテーマ「違いをもたらそう」を基に①ロータリアンとしての自己の確立 ②CLPクラブリーダーシップ・プランの見解について詳細なご指導を受け賜りました。

また、例会に於いては「ロータリーは様々な職種の一番優れた方が会員になっており、人類史上二度とない奇跡だと言われている。週1回の例会で自己研鑽、奉仕の理念を一丸となって磨き合うのが例会であり、我々の命である。」と指摘され、3クラブ共、会員の90%近い出席率のもとに、まさに一期一会の盛大にして貴重な例会でした。



名古屋名南ロータリークラブ

会長 大隅 紀郎

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長 岩本 成郎

11月2日(火)名古屋名南ロータリーがホストとなり、名古屋瑞穂ロータリークラブと合同で、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして11時半から開催されました。ガバナー方針に従い、例会は通常例会の形式を取らせて戴き、例会場のマリOTT・ホテルにも協力いただきまして、開業以来初めてと云う質素な昼食会とさせていただきます。例会前にはガバナー、地区幹事より両クラブの会長・幹事にクラブの運営・クラブ活動の進め方について、丁寧にご指導いただき、CLPに対する誤解も解けたと思います。

瑞穂RC会長からは会長スローガン「和の心」、クラブテーマ「熱田の森、友愛、気品」を踏まえて、楽しく明るい、そして活力あるクラブ運営に努めるとの挨拶がありました。

名南RC会長からはクラブのメインテーマの一つである「奉仕の精神」に基づき、今年度RI会長方針の一つである「水の問題」に取り組み、タイ・チェンマイ県にあるドンチャン寺院の管理する養護施設に「浄水機」を寄贈する件についての報告が発表されました。

後半、江崎ガバナーから卓話をいただき、ロータリーは政治、経済、人種、宗教を超えて、唯一世界平和に貢献できる機関であるとの説明をされました。ロータリーのメガプロジェクトであるポリオプラスの活動も終盤を迎え、これからのメガプロジェクトは「世界平和フェロー」という奨学金制度により6カ国の協力大学に「平和と世界紛争を解決するための学部」を設け、世界各国に「平和をもたらす為の紛争解決の専門家」を育てるためのプロジェクトが活動を開始しました。次回の地区大会には関係者の講演も予定していますから、是非、多数の参加をお願いしますと話されました。

2クラブとも今日の公式訪問で勉強させていただいた事を参考に、ますます楽しく明るく有意義なクラブ活動に邁進したいと思います。

名古屋名駅ロータリークラブ

会長 名塩 孝

10月3日(水)、名鉄ニューグランドホテルにおいて、江崎柳節ガバナー、河村嘉男地区幹事をお迎えして、名古屋名駅ロータリークラブ第780回例会が開催されました。

例会開始前の午前11時より、江崎ガバナー・河村地区幹事と当ロータリークラブ岡村副会長・大橋幹事との事前懇談会が行なわれ、当クラブの今後のクラブ運営について、非常に示唆に富んだご意見やアドバイスを頂きました。

例会では江崎ガバナーから今年度RIテーマを丁寧にご説明頂きました。更にガバナーは、理事会に会員増強とロータリー情報委員長が参加していることに関心を持たれ、会員増強が順調に進んでいるのも、理事会と連携してきちんと活動しているからであること、また「椿賞」という素晴らしい社会奉仕プログラムを持っていることへお褒めの言葉をいただきました。クラブが今後発展していくには、クラブ奉仕の中に研修機能を備えること。今やロータリーは生涯教育であり、研修機能整備のためにはITの積極的な導入が必要。最後にポリオプラスの活動と世界平和への貢献について、事例を紹介しながら判り易くお話になり、ロータリーは政治・宗教と一線を画し、そのネットワークと影響力を活かしていきたいとお話をいただき、大変充実した例会となりました。ありがとうございました。



春日井ロータリークラブ

会長 松 尾 隆 徳

名古屋城北ロータリークラブ

会長 津 坂 守 英

10月5日名古屋城北RCと春日井RCとの合同にてガバナー公式訪問を受けました。

例会前の懇談の場では、両クラブの現状報告に対して親切丁寧な指導助言を頂き両クラブは、意を強くしました。同時に江崎ガバナーのロータリーに対する情熱に心をうたれ感動もいたしました。

違いをもたらそうOne Differenceを具体的に説明を受け、従来の継続事業の見直しの意を強くし又CLPの観点から当クラブの棚おろしの必要性も強く認識しました。

例会に於ては、グローバルな視点からのロータリー活動をお話頂き、地域活動と同時に広い視野から活動の必要性を認識しました。清水ガバナー補佐のホームクラブでもある当クラブとして、地区方針を少しでも具体的に実現さすべく思いをあらたにした。



奥三河ロータリークラブ

会長 佐々木 としゑ

10月10日ガバナー公式訪問がおこなわれました。

昨年までは合同例会でしたが、本年度はガバナーの要望もあり奥三河単独の例会となりました。江崎ガバナー、河村幹事をお迎え致しました。

昨年度からのAED事業・財団100ドル寄付・各団体への協賛事業等、38年の歴史あるクラブを小人数で頑張っているとお褒めの言葉もいただきました。

ロータリーには用意しているプログラムが沢山あります。例えば「ロータリー財団地区補助金」・「奨学金制度」を利用して交換学生を毎年1名派遣する。

寄付を一方的にするのでは無く、制度をじょうずに利用するのも沢山の奉仕ができる事をお教えいただきました。

会長・幹事とも本年は女性ですので、とても心配をしていましたが、和やかな雰囲気で終えることが出来ました。

今後奥三河ロータリークラブの特色を生かした活動、少人数でも出来る活動、楽しく家族的な活動に取り組んで行きたいと考えています。

今後共御指導よろしく御願ひ致します。遠くまでお出でいただきありがとうございました。



一宮ロータリークラブ

会長 石 井 宏 児

尾西ロータリークラブ

会長 森 新

10月11日（木）、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えし、一宮、尾西の2ロータリークラブ合同例会を開催いたしました。

会長幹事懇談会では、CLPの精神を正しく捉え、クラブの活性化に役立てること、次年度地区協議会にむけてホストとしての注意点など、多くの具体的なアドバイスを頂戴しました。

例会では、一宮恒例のボールハリスの月桂樹入りカレーライスを召し上がっていただき、また、ガバナー卓話において、ロータリーの先人の足跡をお聞きして、ロータリーの偉大さ、すばらしさを、あらためて誇らしく思った次第です。

尾西クラブさんとの親睦も深まり、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



蒲郡ロータリークラブ

会長 三 浦 雅 弘

豊川宝飯ロータリークラブ

会長 井 指 光 基

今年度の公式訪問は江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして、10月12日豊川宝飯RCとの合同で開催されました。

会長・幹事会ではRCの現状をふまえ、RCの未来を切り開く方策、CLP、地区補助金の活用等具体的にアドバイスをいただき、また我々が直面している問題点についても的確にお答えいただきました。各クラブの立場に立つての対応は、ガバナーの誠実なお人柄を表しており大変感銘をうけました。

例会においては「Rotaryと世界平和」を主題に卓話をいただき、会員にロータリアンであることの誇りと喜びを持って前進しようと呼びかけられ、またお見送り際には固い握手をしていただき、残りの任期を全うするための新たな活力と勇気を与えていただきました。





ガバナー公式訪問報告

知多ロータリークラブ

会長 木下 勝美

常滑ロータリークラブ

会長 猪飼 盛雄

10月15日(月)、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えし、常滑、知多合同によるガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会前に行われた懇談会は、両クラブの会長、幹事に加え、それぞれの会長エレクト、副幹事も同席して行われましたが、席ではガバナーの優しいお人柄にふれ、つい日頃のクラブ運営に関する悩み、クラブの実情などありのままにご報告申し上げたところ、まことに適切なご指導をいただきました。

清水ガバナー補佐を交えた円卓での食事の際も、常滑、知多両クラブが親子クラブにあたる事、知多クラブが今年創立20周年になる事など話も弾み大変和やかなひと時でした。

ガバナー卓話ではRIテーマ、地区運営方針をはじめ大変分かりやすくお話をしていただき、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

これを機に両クラブ共さらに友情友愛を深め、奉仕の理想にむけ活動してまいりたいと思います。江崎ガバナー、河村地区幹事におかれましては誠に有難うございました。



名古屋錦ロータリークラブ

幹事 日比野 啓二

名古屋守山ロータリークラブ

会長 齋藤 慎一郎

10月16日(火)、名古屋守山・錦RC合同例会は江崎柳節ガバナー並びに河村嘉男地区幹事の公式訪問日として粛々と開催されました。当日の例会前には合同会長幹事懇談会も行われ、ここでは江崎ガバナーへ今年度のクラブ計画を報告しご指導を賜りました。江崎ガバナーの地区運営方針は「違いをもたらそう」であり、我が錦RCの今年度テーマ「自然環境との共生」につきまして高い評価を賜り、環境先進クラブとしての実なる実績を積みあげて参ることを宣言いたしました。

また今年度方針のなかでは、とりわけ会員増強と退会防止に努め40名体制の実現を目指して参ります。幸い今期はじめに2名の素晴らしい新入会員を迎えることができ、今まで以上にアットホームな雰囲気の中成果を必ず挙げるべく会員一同、努力致しております。



一色ロータリークラブ

会長 神谷 正康

碧南ロータリークラブ

会長 鈴木 敏弘

10月18日(木)素晴らしい秋晴れの日、一色ロータリークラブのホストによる、碧南・一色ロータリークラブ合同例会に江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えしました。

定刻より少し前にご到着されたガバナー・地区幹事と、両クラブの会長・幹事・会長エレクト・副幹事の10名で早速懇談会を開催いたしました。席上ガバナーより「本年度45周年を迎える一色ロータリークラブ、次年度50周年を迎える碧南ロータリークラブは歴史あるクラブで管理運営は見事にできている。」との言葉をいただき少し安堵の気持ちになりました。会員増強に苦勞している一色クラブには、「ロータリーに魅力を感じている人には体験入会を考えてはどうか。地区の会議で得た情報が全会員に伝わっていないのでは。」など和やかな中にも示唆あふれるアドバイスをいただきました。

ガバナーの本年度の方針である100万ドル例会とするため、碧南クラブの大正館・杉浦昇一君にご協力いただき、両クラブともロータリー財団に寄付することができました。

例会でのスピーチで江崎ガバナーは、本年度のRIテーマ『Rotary Shares』について解かりやすい説明をされ、地区方針の『違いをもたらそう』については、「地域に多くの奉仕団体が存在しているなか、今こそロータリーらしい奉仕が必要です。」と述べられました。両クラブの会員にとって非常に有意義なガバナー訪問であったと思います。

豊田西ロータリークラブ

会長 小幡 輝雄

豊田三好ロータリークラブ

会長 永井 光彦

10月22日(月)豊田西RCがホストクラブとなって、豊田三好RCとの合同で、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして公式訪問が行われました。

例会前に行われた「会長・幹事懇談会」では、主なクラブ活動並びに運営等について、お話しをさせていただきました。ガバナー方針等についても説明がありました。

クラブからの質問等は、豊田三好RCからは増強について悩んでいるという報告もあり、ガバナーから「魅力あるクラブに、そして一人一人が友達を入会するよう努力してみては」というお話がありました。又、ローターアクト(RAC)、地域共同体(RCC)について、努力して下さいとご指導もいただきました。RC親睦野球にも称賛をいただきました。

例会においては、RI会長方針、ガバナー方針にも触れられ有意義な公式訪問であったと思います。

最後に、江崎ガバナー、河村地区幹事に心より感謝を申し上げ閉会とさせていただきます。



ガバナー補佐訪問を終えて

南尾張分区

■ ガバナー補佐

清 水 幸 一 ■



7/19の半田RCをかわきりに10/5のホームクラブ常滑まで無事クラブ訪問を終えることが出来ましたこと分区内ロータリアンのご協力に改めて感謝申し上げます。

南尾張分区は7クラブ中、会員30人未満のクラブが3つもある地区内最小の分区であり予想通り多数の委員会の掛け持ち更に同じ役が二度、三度そして運営費捻出のため毎週のニコBOXと大変なご苦勞をうかがいました。

予めこのことを念頭に、卓話では何より無理をせずクラブの規模に応じた運営と活動そして地道な増強を重ねクラブの基盤の強化、組織のスリム化によるCLPの推進、更にベテラン会員の協力により活性化を図り明るく楽しいクラブづくりと共に本年度最大の目標である会員純増2名のお願いを致しました。

幸い各クラブ共非常に積極的で目標達成は十分期待できると思われる。

又、小分区の特徴を生かし良いところは各クラブが積極的に取り入れ、悩みごとは分区全体で解決する、文字通り知多は一つを合言葉の元、分区の結束を強く訴えた次第であります。

本年度の卓話は前半は私、後半はご担当の濱口副幹事に違った角度からのお話をお願いし、その格調高い内容には私も大いに感銘致したところであります。

最後に濱口様にお礼を申し上げ所感とさせていただきます。

西尾張分区

■ ガバナー補佐

鈴 木 孝 則 ■



7月20日から10月17日までの約3ヶ月間に9クラブを訪問させていただきました。

歴史のあるクラブばかりですので、全てにわたり手際よく準備されており、何も言う事はございませんでした。

この時期は会長・幹事さんはじめ全会員が「しっかり準備してきたことを実行するときである」と最も張り切っているときです。

訪問させていただいた五藤隆夫地区副幹事、ガバナー補佐幹事の山田謹一君、立松絹久君共々、各クラブの真剣さ、躍動感を感じ、こちらも勇気をいただいた次第です。

本年度クラブリーダーの方々は勿論、色々な形で存じ上げている方々が我々を温かく迎えてくださり、訪問は大変気持ちの良いものでした。

全クラブの皆様に心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

考えてみますと、分区内9クラブのことを知るのは、全クラブを訪問するガバナー、ガバナー補佐、担当副幹事、補佐幹事だけで、一般会員は隣のクラブのことさえも知っていない場合があります。「友情を深める」意味からも、「切磋琢磨する」意味からも、少なくとも分区内クラブはもっと緊密でありたいと感じました。

各クラブにはそれぞれ様々な事情があります。クラブの歴史を作ってこられた先輩ロータリアンの皆様は、良い事は膨らませ、悪い事はその解決に挑戦して参りました。先輩のご努力と情熱が込み込んだ「たすき」を我々は受け継いだわけですから。こんどは我々の汗を加え、少しでも良い状態にして次年度に引き継ぎたいものです。

訪問をさせていただいたおかげで、会長・幹事さんはじめ素晴らしい友人を更に得る事ができました。こんなに嬉しい事はございません。

終りになりましたが、ご同行いただいた五藤隆夫地区副幹事さんのご指導とご協力のおかげで充実した訪問ができたことを補佐幹事共々心から感謝申し上げます。

ガバナー補佐訪問を終えて

東尾張分区

■ ガバナー補佐

清 水 勲 ■



東尾張分区11クラブを7月26日の江南RCから最終10月24日小牧RCまで3ヶ月をかけて訪問させて頂きました。

11クラブの内、会員数18名から30名未満が4クラブ、70名以上が3クラブ、その他、中堅が4クラブです。70名を超えるクラブは和やかながらも意欲的であり、充実したクラブ運営が感じられました。

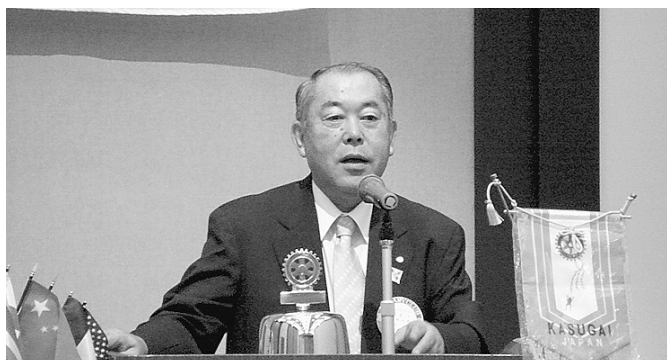
一方、小人数クラブには、和気あいあいとした雰囲気であらゆるゆえのまとまりのよさ、結束力と求心力が感じられました。又、地区委員会の拡大とクラブ会員数の減少との整合性について疑問を持たれる方もありました。その対処法として4クラブが今年から会合を行う事により、お互いが情報交換することによって、100名クラブと変らない体制が整えられるのではないかと感じております。いずれにいたしましても小人数クラブでは会員増強が急務だと思われまふ。

CLPに関しては地区見解に対して各クラブの反応が様々でありましたが、クラブ管理運営を見直すと言う視点では意義深い年ではなかったかと思ひます。

IIIRCの横のネットワーク構築には今後、益々ガバナー補佐の存在が必要とされると感じました。

今回の訪問に際しましては各クラブから心のこもった温かい歓迎を頂きました。心からお礼と感謝を申し上げます。

「ロータリーの友情」はROTARY SHARES（分かち合いの心）と実感した訪問でした。



西名古屋分区

■ ガバナー補佐

杉 本 仁 至 ■



ガバナー補佐訪問は、7月17日(火)名古屋ロータリークラブに始まり、10月22日(月)名古屋栄ロータリークラブまで、西名古屋分区12ロータリークラブを江崎柳節ガバナーの公式訪問の露払いとして、ガバナー補佐訪問をつつがなく終了させて頂きました。各12クラブの会長、幹事さん始め役員、理事、メンバーの皆様へ温かく迎えて頂きました。心より感謝を申し上げます。

RI会長方針、ガバナー所信をお伝えし、ガバナー補佐として、その方針、所信をわかりやすく噛み砕いて説明させて頂きました。

又、ガバナー補佐としてロータリークラブに対する自分の考え方、自分の思うところを、きたんなく話をさせて頂きました。多少辛口でありましたが、ご理解を頂きたいと思ひます。

12ロータリークラブには、各クラブすばらしい独自のロータリー文化があり、いろいろな顔を見せて頂きました。大変勉強になりました。

CLP（クラブリーダーシッププラン）については各クラブに温度差はありますが、前向きに検討し実行に入りつつあります。ロータリークラブの活性化が少しずつ進んでいくのではないかとと思ひます。

一つ気になったことは、ほとんどのクラブが例会場での国旗をRC旗にあわせて縦長に掲げていますが、平成11年に日本の国旗に関する法律が施行され、縦横の割合は7：10の横長に決められています。国際RCに合わせるのではなく、日本の象徴である国旗は日本人の誇りとして正すべきだと思ひました。地区大会、西名古屋分区IMではそのように掲げられることを願っております。又、各クラブ共それにならって頂きたいと思ひます。

今後は西名古屋分区のIMが平成20年2月18日(月)名古屋観光ホテルで「取り戻そう！日本人の誇りと自信を」をテーマに藤原正彦先生（国家の品格の著者）を講師に迎え開催させて頂きます。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

ガバナー補佐訪問を終えて

東名古屋分区

■ ガバナー補佐

佐藤 正 延 ■



お蔭様をもちまして、去る10月18日の名古屋葵ロータリークラブさんを最後に、ガバナー補佐訪問を滞りなく終了する事が出来ました。これも偏にガバナー始め塚原地区副幹事ら関係各位のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

振り返りますと当分区は、歴史と伝統を深く持ちつつ着実に歩んでいるクラブ、一方誕生間もなく希望に向けて夢を膨らませつつ明日のロータリーのあるべき姿を見る様なクラブなど様々でした。しかしながら共通したロータリー活動を拝見しますと、各クラブ共に江崎ガバナーの本年度方針と、会長の方針とを車の両輪の如くC.L.P. (クラブリーダーシッププラン) を実行しつつ、「楽しく明るい例会」と「地域と密着した奉仕活動」、それに「将来を展望した国際奉仕活動」を着実に実行しているという印象を強く致し、明るい明日のロータリークラブのあり方を実感致した次第です。

結びに東名古屋分区各クラブの会長並びに幹事さんには大変お世話になりました、心より御礼申し上げます。

東三河分区

■ ガバナー補佐

神野 武 郎 ■



ガバナー補佐としての前半の大きな仕事は、ガバナーの公式訪問に先がけて分区内の各クラブに訪問し、会長・幹事さんたちとの懇談、例会での卓話、そしてクラブ協議会での各役員・委員長さんからの活動への取り組みや問題点などをお聞かせいただき、ガバナーの訪問に際し必要な事項をご報告することだと理解してはいましたが、ロータリー暦も浅く、経験不足の私にとっては、不安と緊張の連続でありました。しかし、各クラブとも会長・幹事さんの素晴らしい人柄に接し、また、例会場では温かく迎えられ、いつの間にか「ロータリーの魔力」に助けられている思いでありました。東三河分区は、13RCと多く、その上に渥美半島から奥三河とエリアも広域で、毎回欠かさずに小牧から参加していただいた落合副幹事さんには心から感謝しております。7月23日から始まり、10月9日が最終となりました。各クラブともガバナー方針を十分に理解し、活動方針の中に取り入れられ、それぞれに違いをもたらした素晴らしい活動を展開されていることに深く感銘を受けました。また、クラブ協議会も各役員・委員長さんから有意義な報告やら課題を承ることが出来て、ガバナー補佐としては十分なお応えは出来ませんでした、大いに勉強させていただきました。改めて、お世話になりました各クラブの皆様に心から御礼申し上げます。

次は、IMを如何に楽しく有意義な大会にするかが最重点課題です。後半に向けて、より一層のご指導をお願い申し上げます。

ガバナー補佐訪問を終えて

西三河中分区

■ ガバナー補佐

杉 浦 壽 康 ■



担当の西三河中分区には9クラブある。7月25日の豊田東ロータリークラブ（以下「クラブ」と略）の訪問を皮切りに豊田中クラブ（7月27日）、岡崎クラブ（8月8日）、豊田クラブ（8月9日）、岡崎東クラブ（8月23日）、岡崎城南クラブ（9月4日夜）、岡崎南クラブ（9月11日）と順次訪問を進め豊田西クラブ（10月15日昼）並びに豊田三好クラブ（10月15日夜）を最後に訪問を終えた。

訪問前に各クラブについてある程度の予備知識を得る為、予め手元に届けられた各クラブの「年次計画書」「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」および「ガバナー補佐訪問報告書」に目を通した。この時点で西三河中分区のすべてのクラブは素晴らしいクラブ運営がなされており奉仕活動も効果的で活発でしかも特徴のあることが判った。従って、ガバナーに代わって助言・指導を行うことが補佐訪問の目的の一つであるが、何一つ指導・助言する事はなかった。RIの提唱するCLPについても検討されておりクラブによっては部分的に取り入れていたり、クラブによっては改めて取り入れる必要がないほどの組織・運営がなされていた。

分区内には会員数が22名のクラブがあるが会員数の多いクラブに負けない活動がなされていた。

すべてのクラブで温かく迎えていただき、例会も家庭的な雰囲気の中で節度ある進行がなされ、会長・幹事懇談会を含め学ぶ事が多くロータリーについて改めて勉強する機会となった。

西三河分区

■ ガバナー補佐

金 子 利 夫 ■



西三河分区9RCの訪問を、平成19年7月23日刈谷RC訪問を皮切りに、10月17日の知立RCを最後として終わりました。この間、松尾憲二郎地区副幹事を始め、杉浦知博補佐幹事は私にとって非常に心強い応援となり、無事責務を果たすことが出来ました。感謝申し上げます。

9RC訪問時には、RI会長方針・地区ガバナー運営方針等をお伝えすると共に、協議会に於いて各クラブの活動状況について意見交換を実施しました。クラブ協議会には、本年度事業計画実施の中から課題（棚卸）を見出し、次年度事業計画に折込むことがクラブ活性化に繋がることであると考えをいつも念頭に参加致しました。

各クラブとも会長方針に基づき、委員会が方針展開を行い「ここが違う」ことを主張しつつ、主体性を失わず本音でのクラブ協議会を開くことが出来ました。そこで分区内の親睦がより深まり、クラブ独自性と更なる活性化が図られ、各クラブとも活動の成果が得られると確信致しました。

終わりに、私自身各クラブを訪問することにより同じ西三河地区の内でも、風土・文化の違いがあり今まで認識していたことと違う体感をし、勉強することが出来ました。歳だけは人並みにとりました自分を恥ずかしく思いました。残り6ヶ月程地区新世代担当の業務とIMの責務があります。先ず行動をもって「ガンバル」ことが第一と考えております。

分区内ロータリアンの皆様、ありがとうございました。

2007～2008年度 国際ロータリー第2760地区委員長会議

ロータリー財団委員会

委員長 深谷 友尋

10月24日名鉄グランドにおいて江崎柳節ガバナー、片山主水ガバナーエレクト、河村嘉男地区幹事始め地区役員、地区内クラブ会長、クラブロータリー財団正副委員長81クラブ総勢240名余のロータリアンが集まり、盛大に開会されました。

特別講師にロータリー財団地域コーディネーター小島哲様より「ロータリー財団について」と題してご講演をいただきました。

地区内ロータリー財団委員長会議の目的はロータリー財団プログラムへの支援や参加に対する、より理解していただくことと、各クラブにおいていかに活用していただけるかの研修であります。

また、日頃の奉仕の中での疑問点や各クラブの意見を交換する場でもあります。

次月11月はロータリー財団月間ですので、ロータリアン一人ひとりが財団の意義を理解し、財団への年次寄付をする月でもあります。「毎年あなたも100ドルを」「Every Rotarian Every Year」の推進月間です。

会議の初めに江崎ガバナーよりごあいさつをいただき、ロータリー財団の活動はポリオ・プラスを始め識字率の向上など世界的に行われている活動の成果は極めて大きいと称賛し、これからも積極的に取り組んでいただきたい。また地区の寄付寄与率にふれられゼロクラブは無くなったと述べられた。その後各委員会より中間活動報告を年次寄付委員会、恒久基金委員会、地区補助金委員会、研究グループ交換委員会、国際親善奨学委員会、ポリオ・プラス委員会、学友委員会、世界平和フェロシップ委員会の順にて8小委員会の委員長より報告があった。



休憩後、小島哲ロータリー財団地域コーディネーターより「ロータリー財団について」をテーマに特別講演が行われました。

はじめに年次寄付 (District Designated Fund・World Fund) について説明があり、ロータリー財団へ寄付はするが、その先が見えてこなかったが、ロータリー財団に携わるといろいろなことが見えてくる、是非財団に各クラブの積極的な取り組みと参加を求められた。世界でのロータリー財団の活動を説明したのち「ロータリーの本質は思いやりの心だと話され、更なるロータリー財団への協力と理解を求めた。

最後に福田清成ロータリー財団カウンセラーより講評があり、会議は終了した。

その後江崎ガバナー、小島哲財団地域コーディネーターを囲んでの懇親会を開催し、GSE派遣チームの杉浦雅子さん（バイオリン）、辻和余さん（ピアノ）の素晴らしい演奏が披露され、河村地区幹事がシャンソン「枯葉」を披露され、満場の拍手をあげ、ロータリアンの親睦がより深まりました。

最後に本会議開催にあたり、ロータリー財団委員会委員のご協力に心より感謝申し上げます。



2007～2008年度 国際ロータリー第2760地区

地区大会速報

違いをもたらそう
—ONE DIFFERENCE—

第2760地区2007～2008年度方針

- | | | |
|---|-----------|-----------------------------------|
| 1 | クラブ基盤の強化 | クラブの魅力を高めましょう。会員純増2名を実現しましょう。 |
| 2 | 成果多い奉仕を | 地域ニーズと合っていますか。ロータリー本来のプログラムにも関心を。 |
| 3 | 奉仕の資源に関心を | ロータリー財団、米山奨学会プログラムに参加、寄付に協力を。 |
| 4 | 指導者の育成 | クラブの枠を超えたロータリー指導者の育成を。 |
| 5 | 研修と教育の充実 | あらゆるレベルの会合に出席して自己研鑽を。 |

ロータリーは
分かちあいの心

ホストクラブ／江南ロータリークラブ

第1日目／2007年11月17日(土)名鉄犬山ホテル

第2日目／2007年11月18日(日)パークアリーナ小牧

ガバナーあいさつ

国際ロータリー第2760地区
2007～2008年度ガバナー

江崎 柳 節



ここに現職R.I.理事のご要職をお努めの小沢一彦様をR.I.会長代理としてお迎えして国際ロータリー第2760地区の地区大会を開催できることを5,200名の我が国最大の地区のガバナーとして皆様とともに心から喜びたいと存じております。

ロータリーは少しずつ変わりつつあるように思われます。クラブ運営管理、奉仕プロジェクト、奉仕資源の理解、ロータリーの持つ公共イメージの認知等の面であります。あこがれを抱いた、よいことをしようと願うヒーロー達が青・壮・熟いずれの年齢層もいとわず進んで自己を磨き地域に、世界に対して“良いことをしよう”と念じて集うヒーロー達の展開するコンペの場であろうと考えております。

この地区大会では次のコンセプトが採用されました。

- 1 クラブを超えた未来型指導者の育成
- 2 変わりつつある奉仕プロジェクトの様態の理解と対応
- 3 素晴らしい指導集団としてのロータリー望まれる“識IT率”への試み
- 4 合理的なロータリー推進のためのシステムの検討
- 5 真の親睦と自己研鑽

この度の地区大会は尾張北部の文化と風土をお感じ頂けるよう東尾張分区分江南ロータリークラブが総力を結集して頂いた手作りの大会です。大きくもないクラブがここまでやれるという意気込みを見て頂けることが“ロータリアンの友情”だと考えております。あらためてこの地区のロータリーに対する理念の高さと会員の皆様の御友情の素晴らしさを主催者一同喜びをもって噛みしめております。深み行く秋の一日、今期最大の地区イベントをお楽しみください。ご参加かきねて御礼申し上げます。

地区大会実行委員長ご参加お礼

大会実行委員長

伊藤 鶴 吉



ロータリアンの皆様、この度の地区大会には大勢のご参加を賜り、誠にありがとうございました。

二日間に亘り天候にも恵まれ、手作りのアトラクションで幼児・高校生の参加もあり、プロのオーケストラやコールロータリーの皆様にもご協力いただき、大会を盛り上げることができました。

R.I.会長代理 小沢R.I.理事には、国際ロータリーの現況やロータリアンの指針も語っていただき深い感銘と共感を覚えました。

ロータリーミーティングは、進化する奉仕への道標ともなる内容豊かなシンポジウムでした。

記念講演「世界のリーダー達の武器なき戦い」手嶋龍一氏の講演は、永年に亘りNHKワシントン支局長時代、世界で活躍するトップリーダーと出会い、話し合う中で培われた熱い思いを語られた有意義な講演でなかったかと思えます。

ホストクラブの江南RC全員が総力をあげてこの大会を企画・運営させていただきましたが、何かと行き届きの点やご迷惑をかけたことも多々あったと思いますが、ロータリーの友情でご寛容の程お願い申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

第1日目 11月17日(土)

11:00 地区諮問委員会【6Fリビエール】
 12:00 R.I.会長代理を囲む昼食会【6Fシャトー】
 13:00 本会議登録受付 開始
 13:30 “師勝はなの樹幼稚園”園児ハンドベル演奏
 14:00 点鐘
 国歌・ロータリーソング
 開会のことば
 R.I.会長代理ご夫妻紹介
 特別出席者・出席クラブ紹介
 主催者挨拶
 R.I.会長代理挨拶
 友好地区ガバナー挨拶
 15:00 各委員会報告
 ●大会登録委員会報告……………委員長／伊藤鶴吉
 ●信任状資格審査委員会報告……………委員長／岡部快園
 ●選挙管理委員会報告……………委員長／松本 宏
 ●大会決議委員会報告……………委員長／神戸政治
 ●大会決議(案)採択……………ガバナー／江崎柳節
 ●2006～2007年度地区財務の年次会計報告
 ……前地区会計長／伊藤康司
 ●2006～2007年度地区財務の年次監査報告
 ……前地区監事／渡辺祥二
 年次会計報告の承認……………ガバナー／江崎柳節
 15:30 ロータリーミーティング
 シンポジウム『期待される奉仕プロジェクトの新傾向』
 ●コーディネーター
 2760地区ガバナー 江崎柳節氏(小牧RC)

2760地区ロータリー財団委員長 深谷友尋氏(名古屋みなとRC)
 ●パネリスト
 「Polio撲滅・識字率改善の意義」…関場慶博氏(弘前RC)
 「ロータリー・友人をあたえてくれる奇跡の場」
 ……飯 忠悟氏(今治RC)
 「ロータリーが世界平和を創る」
 ……杉山恵奈氏(ロータリー世界平和フェロー)
 「自験から得た救急救命の実践」
 ……伊藤秀雄氏(名古屋東南RC)
 「2760地区のWCSの現況」… 籠橋美久氏(名古屋中RC)
 17:30 閉会・点鐘

R.I.会長代理ご夫妻歓迎晩餐会【2F彩雲】

18:30 受付開始
 19:00 開会・挨拶
 乾杯
 会食・歓談
 エレクトーン演奏 / 奏者 松井宏行氏
 20:30 終了

9:30～11:30
 地区指導者育成セミナー【2F彩雲】

12:00～18:30
 インターネットカフェ【2F金扇】



地区大会決議

本会議において以下11項目の大会決議が採択された。

- 【第1号】決議
 ウィルフレッドJ. ウィルキンソンR.I.会長テーマ推進の件
- 【第2号】
 R.I.会長代理小沢一彦氏に対する感謝の件
- 【第3号】
 2006～2007年度国際ロータリー第2760地区ガバナー斎藤直美君に対する感謝の件
- 【第4号】
 2010年ロータリー規定審議会に松本宏君を代議員として派遣する件
- 【第5号】
 国際ロータリー理事指名委員会に松本宏君を委員に選出する件

- 【第6号】
 会員増強推進の件
- 【第7号】
 ロータリー財団並びに米山奨学事業に対する理解と寄付協力並びに各プログラム推進の件
- 【第8号】
 地区大会記念行事の採択の件
- 【第9号】
 地区大会ホストクラブに対する感謝の意
- 【第10号】
 国際ロータリー2008年国際大会について
- 【第11号】
 次年度地区大会開催の件



地区指導者育成セミナー

斎藤年度から始まった「地区指導者育成セミナー」は、江崎ガバナー年度で第二回目となる。「クラブの枠を超えたロータリー指導者の育成を」をテーマに、地区大会第一日目の本会議第1部の前の午前9時30分から午前11時30分まで、江崎ガバナーの主催のもと豊島徳三地区研修リーダーの開催主旨説明がなされ各クラブの指導者・次期指導者の為のセミナーが開催された。

【内容】

- | | |
|-------------|-------------------|
| 一. C・L・Pの魅力 | 講師 岡部快圓 (名古屋大須RC) |
| 二. 四つのテスト | 講師 田中清隆 (あまRC) |
| 三. 「奉仕」について | 講師 花井文男 (東知多RC) |

ロータリーミーティング

一日目午後3時30分から記念シンポジウムとして、「期待される奉仕プロジェクトの新傾向」と題して、江崎ガバナーと深谷地区ロータリー財団委員長がコーディネーターを務められ、世界で地域で活躍されている5人のパネリストから奉仕プロジェクトの方向性を探る機会として開催された。

【内容】

- 「Polio撲滅・識字率改善の意義」
R.I. 研修リーダー・R.I. 2830地区パストガバナー 関場 慶博氏 (弘前RC)
- 「ロータリー・友人をあたえてくれる奇跡の場」
R.I. 2670地区パストガバナー 飯 忠悟氏 (今治RC)
- 「ロータリーが世界平和を飾る」
ロータリー世界平和フェロー 杉山 恵奈氏 (日本財団)
- 「自験から得た救命救急の実績」
R.I. 2760地区社会奉仕委員長 伊藤 秀雄氏 (名古屋東南RC)
- 「2760地区の世界社会奉仕の現況」
R.I. 2760地区世界社会奉仕委員長 籠橋 美久氏 (名古屋中RC)



R.I. 会長代理歓迎晩餐会

ホストクラブ江南ロータリークラブ 樋江井誠会長の開会のことにより名鉄犬山ホテル「2階彩雲の間」にて、華やかな歓迎晩餐会が開催された。小沢一彦R.I. 会長代理、江崎ガバナー、来賓・特別出席者の皆様、地区内外R.C. 姉妹締結R.C. のみなさん、奨学生・交換学生、研究グループ交換のみなさん等大いに交流と親睦の輪が広がりました。

また、アトラクションとして、エレクトーン演奏でご活躍中の現役大学生(名古屋工業大学電気情報工学科在学中)松井宏行氏との素晴らしいひと時を過ごす事が出来ました。

第2日目 11月18日(日)

09:00 本会議登録受付 開始
 09:30 開会
 滝学園マーチングバンド演奏
 10:00 点鐘
 国歌・ロータリーソング
 物故会員黙祷
 開会のことば
 R.I. 会長代理・来賓・特別出席者紹介
 出席クラブ紹介
 ロータリーファミリー紹介
 ロータリー財団奨学生／青少年交換学生／新世代ライラ友の会
 米山奨学生／インターアクトクラブ／G.S.E／米山学友会
 ロータリーアクトクラブ
 10:45 ガバナー挨拶
 10:55 R.I. 会長メッセージ並びに近況報告
 11:15 記念事業発表・目録贈呈 来賓祝辞
 11:35 感謝状贈呈・表彰
 12:05 昼食【アプローチテラス(テント内)およびメインアリーナ観覧席】
 R.I. 会長代理主催顕彰昼食会【会議室A1・A2】

12:45 本会議第2部 開会
 コールロータリー名古屋コンサート&
 中部フィルハーモニー交響楽団ジョイントコンサート
 13:40 次年度ガバナーエレクト／ノミニーの紹介・挨拶
 次年度地区大会ホストクラブ紹介・挨拶
 感謝状・記念品贈呈
 休憩
 14:30 記念講演
 演題／『世界のリーダー達の武器なき戦い』
 講師／手嶋龍一氏
 元NHKワシントン支局長
 現在、外交ジャーナリスト・作家として活躍
 15:50 R.I. 会長代理 講評
 15:55 閉会・点鐘

10:30～12:50
 ファミリープログラム【サブアリーナ】
 デューク更家氏 トークショー&ウォーキング教室

8:00～15:00
 インターネットカフェ【子供運動室】



R.I. 会長あいさつ

ウィルブリッド J. ウィルキンソン

ロータリーとはまったくもって驚くべき存在です。将来に目を向け、2007～2008ロータリー年度を実り多き年とすべく前進する一方、ふと立ち止まり、ロータリーがいかに素晴らしい組織であるかを思い起こしてみるのも良いものです。国際性豊かな最古の奉仕団体であるロータリーには、120万人の会員がいます。会員たちはみな、32,000以上あるクラブで毎週例会を開き、人々の生活を少しでも良くしようと活動しています。ロータリーは、あらゆる分野において有益かつ創造性にあふれる活動を行いながら、毎日何千ものプロジェクトを実施しています。私たち全員が、世界を変えるためにベストを尽くして活動しています。

ロータリーの魔力は、予想さえつかないような素晴らしい仕事、普通の人々でもやり遂げられてしまうことです。ロータリーのおかげで家族と仕事と地域社会主軸として暮らしている皆さんや私のような人々が、日常生活の枠を超えて、それ以上何かを求める機会に恵まれます。ロータリーのおかげで、見知らぬ人々に対して心を開き、何千マイルも離れた地域に自分の地元と変わらぬ愛を注ぐような人間になれるのです。なぜなら、ロータリーとはだれかれの区別なしにすべての人類に向けられる人類愛にほかならないからです。ロータリーはその人類愛を表現し、分かちあう術を授けてくれるのです。

私たちは、クラブ奉仕を通じて分かちあいますが、クラブはいわ

ばロータリーの手となる存在です。ロータリー・クラブがなければ、ロータリーは存在しません。私たちが職業奉仕を通じて愛を分かちあうのは、私たちの職業を通じて私たちはロータリーの声となるからです。私たちが社会奉仕を通じて愛を分かちあうには、社会奉仕がロータリーの心臓部だからです。私たちが国際奉仕を通じて愛を分かちあうのは、それぞれの国において一人ひとりがロータリーの目の役割を果たしているからです。そして私たちは会員増強を通じて愛を分かちあいます。どんなに多くの業績を数え上げてみたところで、新しい会員を増やし、既存会員を維持続けることができなければ、ロータリーは生き残れません。

こういった理由から、2007～2008年度のテーマを「ロータリーは分かちあいの心」としました。思いやる気持ちがロータリーに分かちあいの心をもたらし、ニーズを知ればこそ、ロータリーは分かちあい、「超我的奉仕」を実践すればこそ、ロータリーにわかちあいの心が生まれるのです。今年度、クラブと地区をより一層充実させるために、皆さん一人ひとりがロータリーと分かちあうべきもの、すなわち、リーダーシップと技能、親睦、そして熱意に特に目を向けていただけるようお願い申し上げます。今年度、ロータリーが余すところなく自由に分かちあってくださいようお願いいたします。愛を持って、仕事に励んでいただきたいのです。そして、人々のために奉仕する行為のすべてがロータリーの魔力の一部であることを、どうか忘れないでください。その魔力とは、皆さんや私のような普通の人々にまったく想像もつかないような素晴らしいことを成し遂げさせる力なのです。

W. J. Wilkinson



R.I.会長代理あいさつ

小 沢 一 彦

この度、ウィルフリッドJ. ウィルキンソンR.I. 会長代理として、第2760地区、地区大会に出席させていただきご指示があり、大変光栄で、ロータリアンとしてこの上ない喜びであります。

貴地区は会員数ね奉仕活動、新世代、ロータリー財団、米山奨学会、等日本ロータリーの模範となるべき業績を築かれております。

それを成し遂げてこられた、ロータリアンの皆様と、2日間の地区大会を通して、学ばせていただけることは、私のロータリー活動

にとって、得難い機会をいただいたことになります。

R.I. のテーマ「分かちあいの心」は、ロータリーを地域の隅々まで、世界のいたる所にまで広めて、心豊かな地域、平和な世界の達成を求めているものと思います。その喜びを分かち合える仲間をより多く獲得しましょう。

地区テーマ「違いをもたらそう」は、ロータリーはその組織も活動も時代の変化に対応しなければ存続できない(但し、変えてはいけない原理原則は存在する。)そして、活動は画一的でなく、それぞれの地域の個性と特色が充分活かされたものでなければならないと理解しております。

ホストクラブが目指す「楽しい大会」を満喫させていただきます。



大会本会議・記念講演

本会議第2部は、パークアリーナ小牧(小牧市)に会場を移し、小沢一彦R.I. 会長代理ご出席のもと、滝学園ブラスバンド部によるマーチングバンド演奏を皮切りに開催された。江崎ガバナーの挨拶の後、R.I. 会長メッセージ並びに近況報告が小沢一彦R.I. 会長代理よりなされた。愛知県、江南市、大口町、小牧市に対し目録が贈呈され、愛知県知事神田真秋様及び江南市長 堀元様から来賓のご祝辞を賜りました。続いて、前年度地区大会ホストクラブの名古屋RCへの感謝状の贈呈と本地区大会に関する表彰(海外参加クラブ、国内最遠方参加クラブ、最多数登録クラブ、最高登録率100%クラブ)と、2006~2007年度に関する表彰(R.I. 意義ある業績賞、R.I. 会長賞、R.I. 会員増強推進計画賞、R.I. 会員増強・拡大賞、ガバナー特別賞、地区特別奉仕賞、ガバナー賞、地区特別功労賞、新ローターアクトクラブ結成賞)が行なわれた。

本会議午後の部が開会され、中部フィルハーモニー交響楽団の演奏とコールロータリー名古屋のジョイントコンサートが開かれ、本会議の緊張感から開放され美しい演奏と合唱を楽しんだ。その

後、江崎ガバナーが片山主水2007~2008ガバナーエレクト(名古屋東南RC)を紹介され、2007~2008年度ガバナーノミニーになられた大澤輝秀氏(豊川RC)を引続き紹介された。そして次年度地区大会のホストクラブとして、名古屋名東RCを紹介された。

その後、江崎ガバナーより小沢R.I. 会長代理への感謝状と記念品の贈呈がなされ、引き続き2006~2007年度に関する表彰(ロータリークラブ創立50周年記念表彰、ロータリー50年在籍表彰、R.I. 財団功労賞、ロータリー財団大口寄付者、ロータリー財団年次寄付優秀クラブ、ロータリー米山奨学会永年功労賞、米山寄付優秀クラブ、米山寄付達成クラブ、クラブ創立記念・米山記念奨学会特別寄付)が行なわれた。

記念講演として、元NHKワシントン支局長としておなじみの現作家・外交ジャーナリストの手嶋 龍一氏をお招きして演題「世界のリーダー達の武器なき戦い」と称して講演が行なわれた。

二日間の地区大会に対して小沢R.I. 会長代理の講評を賜り、第2760地区地区大会が閉幕した。

国際ロータリー 第 2760 地区 第 3 回地区諮問委員会

日 時：2007年11月17日(土) A.M. 11:00～

場 所：名鉄犬山ホテル 6階リビエール

◇江崎ガバナー挨拶

◇協議事項

[出席者]

福田P. D. G.	盛田P. D. G.	加納P. D. G.
神戸P. D. G.	石川P. D. G.	松本P. D. G.
内藤P. D. G.	福田P. D. G.	岡部P. D. G.
豊島P. D. G.	大島P. D. G.	斎藤P. D. G.
江崎D. G.	片山D. G. E.	

[オブザーバー]

河村地区幹事	宮崎次期地区幹事
五藤地区副幹事	伊藤地区大会実行委員長

[欠席者]

奥谷P. D. G.	宮地P. D. G.	蜂谷P. D. G.
野村P. D. G.	太田P. D. G.	高橋P. D. G.

1. 地区大会関連各委員会報告

- ・大会登録委員会
- ・信任状資格審査委員会
- ・選挙管理委員会
- ・大会決議委員会
- ・地区大会における表彰の件

2. 次年度地区大会のご案内

3. 2008～2009年度第2760地区組織図について

4. 2009～2010年度第22回全国ローターアクト研修会の件

5. 2010～2011年度ガバナーノミニーの件

6. 第4回地区諮問委員会開催日変更の件

7. その他

◇報告事項

- ・ロータリー研究会開催について
- ・2008～2009年度地区主要行事について
- ・ペルー沖地震災害義援金について

**名古屋名東
ロータリークラブ**

創立30周年記念事業を振り返って

会長 加藤 常文

去る10月10日我クラブの創立30周年記念式典が名古屋国際ホテルにて厳かにかつ厳粛に執り行われました。来賓は神田真秋愛知県知事、松原武久名古屋市長、2760地区江崎柳節ガバナー、河村地区幹事、パストガバナーはじめ地区役員の皆様方、西名古屋分区と東名古屋分区の会長幹事の皆様方、韓国普信閣ロータリークラブの皆様とともに総勢150名参加の式典となりました。

1978年(昭和53年6月20日)名古屋和合ロータリークラブをスポンサークラブとして発足いたしました。が次年度には地区大会、またその翌年にはIM(インターシティミーティング)がホストクラブとして待っておりまして、まさに30周年記念例会は我クラブの結束を充実させる第一歩となりました。

記念式典は村橋泰志30周年記念事業実行委員長の開会の挨拶で幕が開き、加藤常文会長の挨拶、来賓祝辞を愛知県知事、名古屋市長、江崎ガバナー皆様に頂戴して、記念事業目録贈呈を執り行いました。

記念講演会では演題「これまでの人生」と題しまして野球評論家板東英二氏の軽妙な話術で和やかな雰囲気の中、リラックスした一時を過ごすことが出来ました。

韓国普信閣RC会長の来賓祝辞を頂戴して東名古屋分区佐藤正延ガバナー補佐の乾杯のご発声で祝宴が始まり、和やかな雰囲気でも時間経過しました。

我クラブの写真同好会「写楽会」の力作を抽選形式で贈呈しました。が好評のうちに当選された皆様に喜んでもらうことが出来ました。また30年100%出席者3名のチャーターメンバーにはお祝いのケーキに30本のろうそくを消していただきお祝いをさせていただきました。最後に皆さんと大きな輪になって「手に手つないで」を合唱して閉会としました。

その後、普信閣ロータリークラブ歓迎会を行い1時間足らずの時間でしたが友好姉妹クラブとしての懇親と友好をはかることが出来ました。

我クラブの30周年事業とはいえ関係各位の温かいロータリーの友情で成し遂げましたことに深く感謝申し上げたいと思います。





名古屋千種 ロータリークラブ

創立25周年記念式典報告

会長 宮 尾 紘 司

今回25周年を迎えるにあたり30周年の基礎作りとし、華美にならず千種RCのアットホームらしさを基本とし、例会場である愛知厚生年金会館にて10月16日、江崎柳節ガバナーを始め多数の御来賓のご出席を賜り、当クラブ会員・夫人の出席のもと開催致しました。



記念事業として15周年より継続のタイ東北部の就学促進を支援している「キャンヘルプタイランド」へ学校の集合場兼食堂の建設資金の一部として寄付を致しました。

式典の部ではガバナーより「新世代への活動に積極的に取り組んでいただいている」とのお褒めの言葉を頂きました。記念講演は継鹿尾山寂光院 松平實胤山主に、現代における「命」の大切さについてお話頂き、

祝賀会では、佐藤ガバナー補佐より乾杯のご発声を頂きました。和やかな雰囲気の内、最後に松居創立幹事より25年間の記念をスライドにて振り返り、閉会致しました。

1982年8月16日より四半世紀この礎となった親クラブの名古屋東RC故水野民也創立会長、先輩諸氏、物故会員の方々に感謝し、30周年に向けて思いやりの心あるクラブとし地域社会のため幅広い活動に一層の努力をしてまいります。



一色 ロータリークラブ

創立45周年記念例会

会長 神 谷 正 康

菊の香かおる10月25日(木)、ちょうど45年前のこの日に一色ロータリークラブは、西尾ロータリークラブをスポンサークラブとして創立総会を開催いたしました。以来歴代のガバナーのご指導と、代々の会長はじめ会員の努力、ご家族のご理解とご協力により、今年度45周年記念例会を迎えることができました。記念例会には江崎柳節ガバナー・河村地区幹事・金子ガバナー補佐・杉浦補佐幹事をはじめ近隣3クラブの会長幹事、テリトリーの一色町長 都築譲様はじめ吉良・幡豆の副町長など多くの来賓をお迎えいたしました。

記念事業として次のような事業を行いました。

1. ロータリー財団に1,000ドル、米山奨学会に30万円寄付
2. 一色・吉良・幡豆3町にAED
(キャリングケース付) 各1台寄贈
3. ボーイスカウト一色第1団に発電機寄贈
4. 特別功労者・特別奉仕者に表彰状・感謝状贈呈

祝辞のなかで江崎ガバナーは、大勢の会員夫人の出席に感謝の意を表わされるとともに、今後も変わらぬロータリーに対する理解をお願いされました。

例会終了後、西三河分区 金子ガバナー補佐の乾杯の音頭で祝賀パーティーが始まりました。一色町松木島の神楽太鼓保存会「ちゃらぼこ」による獅子舞のアトラクションには一同大歓声でした。記念例会・祝賀パーティーを通じて、会員一同50周年に向けての活力を皆様から頂きました。ありがとうございました。



2007年12月地区主要行事

<諸会議>

- ◆12月1日(土) 16:00～20:00 第2回ガバナー補佐会議 名鉄グランドホテル
- ◆12月3日(月) 16:00～19:30 第2回次期ガバナー補佐研修会議 名古屋マリオットアソシアホテル

<地区委員会>

- ◆12月5日(水) 15:00～16:30 第6回地区ロータリー未来委員会 ガバナー事務所分室
- ◆12月7日(金) 18:00～20:00 RI第1780地区 GSE送別晩餐会 名古屋東急ホテル
- ◆12月13日(木) 14:00～ 第2回地区史編纂委員会 ガバナー事務所分室
- ◆12月13日(木) 15:00～16:30 第3回社会奉仕委員会 桜ヒルズ101
- ◆12月15日(土) 17:00～20:00 第13回GSE委員会 神戸屋

<委員会主要行事>

- ◆12月6日(木) 15:00～16:30 2008学年度米山奨学生 第1次選考会(書類選考) ガバナー事務所分室
- ◆12月22日(土) 16:00～19:00 米山奨学生・学友忘年会 第2回米山学友役員会 キャッスルプラザ

第99回ロータリー国際大会参加登録のお願い



大会テーマ
「スターに会いに行こう」

2008年ロサンゼルスRI国際大会

2008年6月15日～18日

会場：ロサンゼルス コンベンション・センター

◆◆◆◆ 参加早期登録をお願いいたします ◆◆◆◆

- ▶登録第1回目の締切日は、2007年12月15日です。
- ▶登録第2回目の締切日は、2008年3月31日です。

◎登録方法

・FAXあるいは郵送

申込用紙は、クラブ（ガバナー事務所を通じて）にあると思います。また下記RIウェブサイトから登録書式をダウンロードすることができます。

http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/c08_registration_ja.pdf

登録書式は、RI日本事務局へお送りください。

登録料は、下記銀行口座へご送金ください。

振込先：三井住友銀行 新宿通支店 普通預金 6733244
名義：国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎

・会員アクセスページからオンラインで登録

<http://riweb.rotaryintl.org/ja>

・地元の旅行会社を通して

新潟県中越沖義援金の感謝状届く

国際ロータリー第2560地区2007～2008年度渡辺敏彦ガバナーより新潟県中越沖地震に対しての義援金の感謝状を頂きました。皆様には多大なご支援を賜り有難うございました。

ガバナー事務所冬期休暇のお知らせ

冬期休暇について、お知らせ申し上げます。

ガバナー事務所は、12/29(土)～1/6(日)を休暇とさせていただきます。

その間、何かございましたら、メールにてご連絡をお願い申し上げます。

E-mail : governor07-08@rotary2760.org

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま93号 ★

2007年11月12日発行

● 今月のトピックス

1. 寄付金速報 — 米山月間の結果は？ —
2. 2008学年度の米山奨学金申込状況
3. 台湾学友会が中越沖地震へ義援金
4. ネパールで貧困女性の自立支援に取り組むアルチャナさんが来訪
5. 中国の学友から1,000ドルの寄付
【米山学友 張 虞安さん】

詳細は、米山記念奨学会ホームページ【<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>】をご覧ください。



『友』

インターネット速報

2007年10月30日

No. 309

❖ 国連協会がロータリーに人道賞を授与

ニューヨーク国連協会 (United Nations Association of New York) は10月25日、国際ロータリー (RI) とロータリー財団に2007年人道賞を授与しました。同賞は、安全な水の提供と保健衛生活動、世界各地で継続可能な開発に努めるロータリーの卓越した貢献をたたえるものです。

同賞の授与に際し、ウィルフリッド J. ウィルキンソンRI会長は「RIが奉仕の強調事項の一つとして水に重点を置くようになってから、私たちは多くのことを学びました。ポンプやフィルターを設置するといった、比較的小さな水プロジェクトでも、地域の人々の生活に大きな変化をもたらすことができます。私たちはそれに留まらず、ほかの大規模な水プロジェクトにも取り組んできました」と話しました。

人道賞は、毎年10月24日の「国連デー」を記念して授与されるものです。

今年の人道賞は世界的な水問題に焦点を当てており、ユニリーバ元会長のアンソニー・バーグマンズ氏、ならびにシルク・ドゥ・ソレイユの「ワン・ドロップ財団 (One Drop Foundation)」にも贈られました。

発行:ロータリーの友事務所

ホームページ……[http:// www.rotary.or.jp](http://www.rotary.or.jp)

編集については……hensyu@rotary-no-tomo.jp

文庫通信 (242号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

❖ 地区大会記念講演から ❖

- ◎ 「二人三脚で乗り越えた介護の日々」 小山明子 2006 19p (D.2670)
- ◎ 「世界の山々をめざして ～世界自然遺産との共生～」 田部井淳子 2006 5p (D.2830)
- ◎ 「21世紀のゴールドラッシュと日本人」 野口悠紀雄 2006 17p (D.2710)
- ◎ 「豊かなくるま社会を目指して」 渡辺捷昭 2006 11p (D.2760)
- ◎ 「世紀 日本の世紀」 小池百合子 2007 6p (D.2740)
- ◎ 「どうする地球環境問題」 北野大 2007 6p (D.2740)
- ◎ 「社会変動を視野に入れた教育」 能勢隆之 2007 20p (D.2690)
- ◎ 「世界を旅して ～活きている地球～」 星野智子 2006 4p (D.2560)
- ◎ 「国際社会におけるこれからの日本」 麻生太郎 2007 7p (D.2580)

【上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)】

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

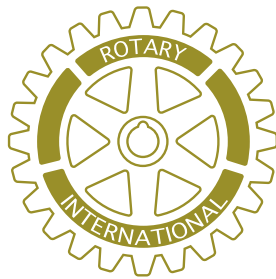
会員数及び出席報告（平成19年10月）

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月	入会	退会	例 会 数	10月 出席率		
		2007年 7月1日	7月1日 女性	2007年 10月末日	女性	10月	累計			10月	累計
南尾張分区	半田	59	3	60	3	0	1	0	0	4	94.24%
	常滑	51	0	52	0	0	1	0	0	4	91.86%
	東海	60	2	61	2	0	1	0	0	5	98.95%
	東知多	22	1	25	1	1	3	0	0	4	83.55%
	半田南	46	1	47	1	0	1	0	0	4	98.78%
	知多	23	0	23	0	0	0	0	0	3	94.20%
	大府	22	1	22	1	0	0	0	0	4	95.00%
	7RC	283	8	290	8	1	7	0	0		93.80%
西尾張分区	一宮	80	0	83	0	1	4	0	1	4	93.26%
	津島	76	3	76	3	0	0	0	0	3	86.64%
	尾西	28	1	29	1	0	1	0	0	4	95.68%
	一宮北	51	0	51	0	0	0	0	0	4	87.29%
	稲沢	56	0	56	0	0	0	0	0	5	89.00%
	あま	89	0	90	0	0	2	0	1	4	97.90%
	名古屋清須	39	1	39	1	0	0	0	0	4	89.93%
	尾張中央	46	0	43	0	0	0	0	3	4	94.90%
	一宮中央	52	5	54	5	0	2	0	0	5	92.38%
9RC	517	10	521	10	1	9	0	5		91.89%	
東尾張分区	瀬戸	80	3	79	3	0	0	0	1	4	100.00%
	犬山	79	0	81	0	0	3	1	1	5	100.00%
	江南	55	1	54	1	0	0	1	1	5	90.63%
	小牧	38	3	38	3	0	0	0	0	5	93.36%
	春日井	62	2	63	3	0	1	0	0	4	96.95%
	尾張旭	30	0	31	0	0	2	0	1	4	100.00%
	名古屋空港	57	3	58	3	0	1	0	0	4	98.81%
	瀬戸北	72	5	75	6	0	6	0	3	5	100.00%
	岩倉	19	1	19	1	0	0	0	0	4	98.68%
	名古屋城北	21	2	21	2	0	0	0	0	4	84.52%
	愛知長久手	26	3	25	3	0	0	0	1	4	81.00%
	11RC	539	23	544	25	0	13	2	8		94.90%
西名古屋分区	名古屋	182	0	193	0	0	11	0	0	5	86.31%
	名古屋西	96	0	100	0	2	6	0	2	4	90.31%
	名古屋南	118	0	120	0	0	2	0	0	5	93.40%
	名古屋みなと	76	0	79	3	1	4	0	1	4	93.15%
	名古屋東南	67	5	82	6	1	15	0	0	5	80.80%
	名古屋中	138	0	143	0	4	6	0	1	4	98.21%
	名古屋瑞穂	72	0	72	0	0	0	0	0	4	96.00%
	名古屋大須	68	3	69	3	0	1	0	0	4	92.98%
	名古屋栄	68	0	71	0	0	3	0	0	4	93.31%
	名古屋名南	74	13	75	13	0	1	0	0	5	98.18%
	名古屋名駅	93	3	98	3	2	6	0	1	4	98.09%
	名古屋西南	46	6	48	5	0	3	1	1	4	95.13%
	12RC	1,098	30	1,150	33	10	58	1	6		92.99%

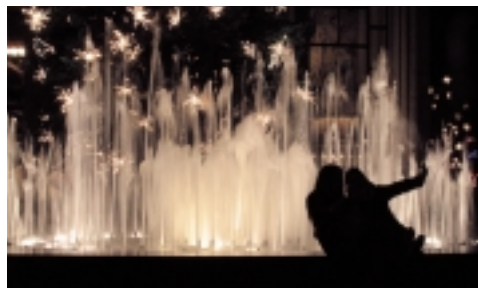
	クラブ	平均
平均出席率	81	94.40%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	10月 出席率
		2007年 7月1日	7月1日 女性	2007年 10月末日		10月	累計	10月	累計		
東 名 古 屋 分 区	名 古 屋 北	96	0	96	0	0	2	0	2	4	94.69%
	名 古 屋 東	82	0	88	0	0	6	0	0	4	96.13%
	名古屋守山	62	7	61	7	0	0	0	1	4	90.81%
	名古屋和合	98	0	99	0	1	2	1	1	5	86.96%
	名古屋名東	59	7	61	7	0	3	1	1	4	100.00%
	名古屋名北	48	7	48	7	0	0	0	0	5	95.84%
	名古屋千種	58	6	60	6	0	3	1	1	5	94.97%
	名古屋昭和	55	0	57	0	0	2	0	0	4	94.97%
	名 古 屋 錦	33	6	35	6	0	2	0	0	5	84.50%
	名古屋東山	48	2	50	2	0	2	0	0	4	85.94%
	名 古 屋 葵	24	0	26	0	0	2	0	0	4	99.00%
	11RC	663	35	681	35	1	24	3	6		93.07%
東 三 河 分 区	豊 橋	119	4	119	4	0	1	0	1	4	93.28%
	蒲 郡	57	0	56	0	0	0	1	1	4	89.75%
	豊 橋 北	90	2	93	2	0	4	1	1	4	98.48%
	豊 川	66	0	70	0	0	4	0	0	5	95.33%
	田 原	54	1	54	1	0	1	0	1	4	93.34%
	豊 橋 南	63	0	64	0	0	1	0	0	4	96.88%
	新 城	50	0	50	0	0	0	0	0	3	90.67%
	渥 美	36	0	36	0	0	1	0	1	5	83.03%
	奥 三 河	18	3	19	3	0	1	0	0	4	92.00%
	豊 川 宝 飯	57	2	57	2	0	0	0	0	4	95.60%
	豊橋ゴールデン	59	0	59	0	0	1	0	1	4	98.17%
	田原バシフィック	63	0	63	0	0	0	0	0	5	97.93%
豊 橋 東	45	0	44	0	0	0	0	1	5	96.33%	
13RC	777	12	784	12	0	14	2	7		93.91%	
西 三 河 中 分 区	岡 崎	92	1	96	1	0	5	0	1	5	100.00%
	豊 田	77	0	87	0	0	10	0	0	4	100.00%
	岡 崎 南	94	2	93	2	0	0	1	1	5	93.98%
	豊 田 西	99	0	102	0	1	4	0	1	4	100.00%
	岡 崎 東	62	0	60	0	0	0	1	2	4	95.83%
	豊 田 東	78	0	80	0	0	3	0	1	4	97.35%
	岡 崎 城 南	75	0	75	0	0	0	0	0	4	94.53%
	豊 田 三 好	22	2	22	2	0	0	0	0	4	84.52%
	豊 田 中	49	5	52	5	0	3	0	0	4	96.00%
	9 RC	648	10	667	10	1	25	2	6		95.80%
西 三 河 分 区	刈 谷	92	4	91	4	0	2	1	3	4	100.00%
	安 城	60	1	60	1	0	0	0	0	4	99.43%
	西 尾	71	1	74	1	2	3	0	0	4	99.04%
	碧 南	79	0	80	0	0	2	0	1	5	97.80%
	一 色	29	0	29	0	0	0	0	0	4	99.00%
	高 浜	39	2	40	2	1	1	0	0	5	100.00%
	知 立	65	0	65	0	0	1	1	1	5	100.00%
	西尾KIRARA	58	0	58	0	0	0	0	0	4	100.00%
	三 河 安 城	56	6	57	6	0	1	0	0	4	94.55%
	9 RC	549	14	554	14	3	10	2	5		98.87%

地区内クラブ数	81RC	2007年7月1日会員数	5,074名	内女性142	増加会員数（累計）	160名
		当月会員数	5,191名	内女性147	減少会員数（累計）	43名
		当月平均出席率	94.40%		差引純増会員数（累計）	117名



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760



表紙に寄せて

Met 撮影 江崎 柳節

ニューヨークでMetと言えば、メトロポリタン美術館かメトロポリタン・オペラをいうのであるが、どちらも快いが、わたくし的にはオペラである。ちょっとしたことからMetのパトロンになって数年経つ。パトロンとはいえサポーターにすぎない。余り行けないが時には無料入場券を送って来る。年末などは思い立つとニューヨークに行ってみるがMetを訪れて流石に快い処遇を受ける。この度は品のよいおばさんが第1列の指揮者の真後ろの席をくれた。両隣の人は土地のなじみ客に違いない。出し物はギリシャ神話の悲劇“エレクトラ”、演奏中居眠りをしてしまったのを知ってか、知らずにか隣人に“楽しめた?”と尋ねられて苦笑い。

オペラがはねて名建築の前の噴水で写したのが今月の表紙です。皆様のご健勝を願って年末年始のご挨拶を申し上げます。(柳節)

ガバナー事務所

〒485-0041 小牧市小牧五丁目253
小牧商工会議所会館5F
TEL0568-74-6111 FAX0568-74-6112
HP : <http://www.rotary2760.org>
E-mail : governor07-08@rotary2760.org